

“負”動産から“富”動産へ!! ステップアッププロジェクト（長野県司法書士会）

課題と目的	近い将来、3軒に1軒が空き家という予想を見据え、まだ空き家問題が深刻でない振興住宅地をモデル地区に選定。空き家予備軍を“負”動産ではなく“富”動産にするための思考を育てる。住民自治協議会とともに、住民の空き家問題に対する意識を高め、相続登記の促進等事前対策を促すことで、空き家化予防（中古住宅等）の流通につなげ、ふるさとの維持・活性化を目指す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当会と県並びに市及び住民自治協議会との連携強化。 ・空き家問題の啓発パンフレットの作成並びに地域住民・地区役員会等における周知活動の実施。 ・空き家対策連続講座「住民学校」の開催及び相談会の同時開催。 ・「空き家問題から考える未来の地域づくり」をテーマにしたシンポジウムの開催。
成果	①県・市・住民自治協議会と司法書士会の相互理解と連携体制の構築 ②空き家対策連続講座「住民学校」の開催 ③啓発パンフレット1～10までの作成及び配付 ④「住民学校」と並行した相談会の実施 ⑤啓発シンポジウムの開催

・連続講座「住民学校」の開催

第1回 令和1年11月17日(11人) 第4回 令和1年12月22日(18人)
 第2回 令和1年11月24日(13人) 第5回 令和2年 1月26日(29人)
 第3回 令和1年12月 8日(12人) 第6回 令和2年 2月 2日(31人)
 ()内は参加員数

・相談会の実施

計4件の相談

- ・身寄りのない叔母亡きあとの問題
- ・亡母の兄妹が住んでいる亡母名義の建物 など

・シンポジウム

空き家の問題から考える未来の地域づくり

令和2年2月16日(日)長野市川中島町公民館にて開催

- ・基調講演テーマ「空き家の活用で街を元気に」中川寛子先生
- ・パネルディスカッション テーマ「解決！空き家問題」(95人)

住民学校



広報チラシ・パンフレット制作

